



Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2013年9月30日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所市民協働課内
☎055-934-4717
Fax055-931-2606
<http://www.nice-numazu.org/>



カラマズー市民訪問団 沼津市長・議長表敬訪問 7月19日(金)

未来に繋がる国際交流 この交流を永遠に



カラマズー市民訪問団 沼津御用邸記念公園にて 7月23日(火)

カラマズー部会

カラマズー市民訪問団来沼!

7/18(木)~7/29(月)

Day 1: Thursday July 18 来沼

毎回、到着便が分かるのが2週間前程度だったが今回は1週間前と、3年前から準備を始めたにもかかわらず、いつにも増して慌ただしい出だしとなった。今回はゲスト40名ホストファミリー28家庭といつもの倍のスケールで様々な制約があり、予算的な問題と相まってホテル泊をやめ、初日からホームステイを組み入れた。ホストファミリーへの引渡しの時は、真っ暗な中での顔合わせとなってしまったが無事に終えることが出来た。

Day 2: Friday July 19 市長・議長表敬・歓迎会

午前には市長・議長表敬訪問。今回は姉妹都市提携50周年の記念プレートの作製や記念切手等の贈呈があり、ゲストは喜んでた。夜は記念式典・歓迎会を行った。歓迎会は箏曲・よさこいのアトラクションをはじめ、姉妹都市提携当時のカラマズー市長モリソンさんのお孫さんによるスピーチ、サプライズバースデイパーティと充実した内容で盛り上がった。


Day 3: Saturday July 20 ホストファミリーデー

バーベキューを楽しんだり、大涌谷・東京・下田等へ出かけたりと、それぞれのホストファミリーで趣向を凝らしてゲストを歓待していただいた。


Day 4: Sunday July 21 文化交流・記念コンサート

例年秋に開催していた国際交流フェアと50周年記念市民文化交流及び記念コンサートを開催した。オープニングでは飛龍高校太鼓部と加藤学園高校チアリーディング部の若い力が躍動。フェアの着装は大きな人気を博し、多くのゲストが浴衣を着て写真に収まっていた。記念コンサートでは沼津燦々ジャズオーケストラとカラマズーカレッジジャズバンドがそれぞれの演奏を披露。その後、息のあったコラボ演奏を聴かせてくれた。


Day 5: Monday July 22 茶摘み・酒造見学

酒造会社見学、製茶工場の見学、茶摘み体験、第二東名SA(ネオパーサ)見学を行った。製茶工場ではお茶が出来るまでの製造工程の説明を受け手揉み茶の体験を、酒造会社では日



本酒の製造工程を見学し、試飲を楽しんだ。ネオパーサでは昼食の後、マグロの解体ショーを見学してゲストの中にはマグロのカマをもらった人もいた。


Day 6: Tuesday July 23 御用邸・柿田川

午前中は御用邸・びゅうおを見学。午後は柿田川公園の散策とサントムーンでのショッピングを楽しんだ。

Day 7: Wednesday July 24 富士山・温泉体験

ゲストが一番楽しみにしていた富士山。来沼以来まだ一度も顔を見せていないだけに、期待はいやがおうにも高まっていた。泣き出しそうな空の下、水ヶ塚公園を過ぎた辺りから降り出した雨は、富士宮口五合目に着く頃には



土砂降りに。やむなく売店でのショッピングと小雨を見計らったの写真を撮影のみになってしまった。午後は天恵での温泉体験を楽しんだ。

Day 8: Thursday July 25 市民交流コンサート・市立高

午前は第五地区センターでカラマズーカレッジジャズバンド、沼津城北高校吹奏楽部、トーンチャイムの演奏を楽しんだ。城北高校とジャズバンドのコラボでは、今日初めて会った者同士で実に見事な演奏を披露してスタンディングオベーションがおこった。市立高校で昼食をとり、歓迎セレモニー・弓道部見学の後、調理・和風小物作り・華道・書道に分かれて生徒と交流した。


Day 9: Friday July 26 鎌倉

10年前の来沼の際に富士山を凌ぐ人気スポットだったのが、鎌倉である。午前中は長谷寺・大仏を見学。鎌倉ボランティアガイドをお願いをして、英語のガイドを手配していただいた。昼食後、鶴岡八幡宮参拝・小町通り散策の自由時間を過ごした。


Day 10: Saturday July 27 ホストファミリーデー
Day 11: Sunday July 28 送別会・花火

送別会を真楽寺で行った。カラマズーカレッジジャズバンドの演奏や滞在中のスライドショーは大いに盛り上がった。今年はホストファミリーと一緒に敷席で花火鑑賞を楽しんだ。


Day 12: Monday July 29 離沼

市役所から一路成田へ。

● あとがき ●

後日、10通を超える御礼のメールをいただいた。『楽しい思い出が出来た』、『快適な滞在をすることが出来た』等、運営を絶賛する声があった。今回の受け入れは規模もさることながら、様々な制約が多く心身共にきつい仕事だったが、ゲストのひとりからいただいた『あなたの表には出ない陰の努力や苦勞を私は知っています。』という一言で報われた気がした。カラマズー部会員をはじめ事務局、協会員、協力者の方々そしてホストファミリーに心から感謝したい。

池田 力

ふれあい部会

国際交流フェア

今年の国際交流フェアは、カラマズー姉妹都市提携50周年記念事業との共催ということで、例年とは異なる日程、会場の7月21日(日)沼津市民文化センターにて開催しました。

初めて行う会場ということで、ブースをどのように設置するか、ステージはどこで行うか、またカラマズー一部会主催の記念事業とどのように関連させるかなど、今回は一から考えなければならぬことが山積みでした。しかし、部会で皆さんと協議を重ね、会場を下見し、出展者の方々からも質問や意見をいただいて、ようやく形にすることができました。

当日はカラマズー一部会が設営したオープニングセレモニーから始まり、フェア終了の15時30分まで多くの来場者で賑わいました。

今年の出展ブースは、外国文化紹介ブースが台湾、インドネシア、イラン、ペルー、インド、キューバ、沼津高専留学生の7つ、日本文化紹介ブースが日本舞踊、華道、箏曲、茶道、着装の5つ、そして姉妹都市であるカラマズーと友好都市である岳陽の2つ、併せて14ブースでした。年々各ブースの展示物や試食もグレードアップし、興味を持った来場者の方々が見物を見て質問をしたり、試食に使われている食材について話をしたりと熱心に出展者の話に耳を傾けていました。



今年は新しくキューバ出身の方が出展して下さり、キューバで栽培が盛んなコーヒーを試飲させていただきました。また、インドブースでは衣装や刺繍の展示と併せて、ひよこ豆のカレーを世界文化遺産登録された富士山の形にして提供してくれました。



富士山形のカレー

沼津高専留学生ブースでは、留学生の出身国であるインドネシアやマレーシア、モンゴルの紹介の他、高専の学生らしくロボットの展示や高専で開発した水素水など、日頃の勉強の成果を発表していました。



茶道は茶室を利用した体験であったので、例年に比べ本格的な環境でお茶を楽しむことができました。出展者の方々も慣れた環境でお茶を提供することができたので、やりやすかったそうです。着装も和室で行ったので、より日本らしい雰囲気を出してきました。今回は多くのカラマズー市民訪問団のメンバーが浴衣を着て、記念撮影をしたり他のブースを見学するなど、着物姿を楽しんでいました。



1階の展示室では、カラマズー一部会と岳陽部会による展示と中国茶の試飲を行いました。姉妹都市提携50周年ということで、1963年の調印式やカラマズーへの訪問団の写真、カラマズーから迎えた留学生との交流の新聞記事、またそ

れ以降の2都市間の交流の歴史などを表す写真や展示物などが飾られました。市民から寄せられた交流の写真を使って作成された50周年記念ロゴのモザイクアートも展示されました。



岳陽部会では岳陽市の紹介や今までの交流を示す写真の展示、中国茶とお菓子の提供を行い、和気あいあいとした雰囲気由来場者とコミュニケーションを楽しみました。

ステージ部門は、例年出場していただいているハワイアン、日本舞踊、インド舞踊、太極拳、箏曲、津軽三味線、イランに加え、キューバと沼津のにぎわいご当地ユニット「オレンジポート」&ダンスユニット「アーツ」が初出演。様々なジャンルの発表となり、大変盛り上がりました。キューバはパーカッションと大きなヒョウタンを使った楽器による演奏で、観客を巻き込んだパフォーマンスによって会場は一带感に包まれ、皆さんはリズムにノリノリでした。



オレンジポートは11歳から23歳の14名の女性メンバーから成るユニット、またアーツは3人の男性から成るダンスユニットで、沼津の様々なイベントで歌やダンスを披露して沼津を盛り上げてくれていますが、フェアでも可愛い笑顔と歌声、そして迫力のあるダンスを披露し、応援団も駆けつけるなど会場は熱気に包まれました。



箏曲や日本舞踊、津軽三味線など日本の伝統文化のステージでは、カラマズー市民訪問団のメンバーが興味津々で演奏に聞き入っていました。また、着装では市民訪問団の男女各1名がモデルになって下さり、男性は袴姿、女性は大振袖を着付けてもらいました。出来上がった姿に客席からは感嘆の声が上がり、外国人でもとてもよく着物が似合っていました。モデルのお二人も照れながらも嬉しそうでした。



今年のフェアは50周年記念として盛りだくさんの内容で開催しました。ご協力くださった出展者の皆様、スタッフの皆様、ありがとうございました。来年はサンウェルぬまづ（ぬまづ健康福祉プラザ）に会場を戻して開催する予定です。来年も皆様のご来場をお待ちしています。

◆国際スポーツ交流会のお知らせ◆

スポーツを通じて国際交流をしませんか？バドミントン、バレーボール、バスケットボール、ソフトバレーボール、10人11脚など…

開催日時：2014年3月上旬の日曜日
13時～16時

会場：沼津市勤労者体育センター

※運動の出来る服装でご参加ください。
※体育館シューズ、タオル、飲み物等各自でご用意ください。



岳陽部会

『NICE太極拳教室に参加して』

(NICE太極拳教室2013(前期)参加、相良恵美子さん)

東京から引っ越してきて沼津の町に慣れた頃、NICE太極拳教室の案内に出会いました。以前、中国の人たちが公園でゆったりと運動をしているのをテレビで見たことがあり、私にもできそうと申し込みました。運動不足の解消と、年齢とともに曲がった背中も少しは伸びるのではないかと思ったのです。

参加にあたって、スタッフの方が「無理をしないで、良い加減にやってください」とおっしゃったのでホッとしましたが、太極拳の動きは考えていた以上に難しいものでした。手足はバラバラ、ギクシャクと、型を覚えるのが精一杯。それでも講師の先生は毎回やさしく丁寧に繰り返し教えてくださいました。

単なる体操と思っていたのですが、中国武術が基礎にあると知って尻込みしている私に、若い教室仲間は、「大丈夫。楽しめばいいのよ」と笑顔で励ましてくれました。この頼もしい応援の後押しをいただいて、次回の教室も頑張ってみようと思っております。



『NICE中国文化講座2013』

スタッフ 浅田春子

6月27日(木)、岳陽部会の初めての試みで、沼津市立図書館において、日本大学大学院・国際関係学部教授の呉川先生をお迎えし、中国文化講座を開催しました。友好都市である岳陽市の有名な岳陽楼記を中心に解説していただきました。詩の背景、作者の経歴、興味深い逸話など、漢詩や中国史に興味をそそられました。また、岳陽楼に関する李白の「遊洞庭湖」と杜甫の「登岳陽楼」の講師の詩を朗読される美しい響きに陶醉しました。特に講師のプロジェクターを使っ

ての丁寧な解説を聞いているうちに、頭の中



国際理解教育部会

7月21日(日)に開催されたカラマズー姉妹都市提携50周年記念事業で、私たちは折り紙のワークショップに参加しました。日本の夏らしい雰



囲気づくりを心掛け、来てくれた人たちにお土産として沢山の折り紙作品を用意しました。立ち寄ってくれた人たちと色々な折り紙をしたり、お話をしたりしました。



【お詫びと訂正】ザ・NICE86号(P5)に掲載しました在住外国人数が間違っておりましたので訂正致します。

(誤) 35,000人 (正) 3,500人